

令和2年1月栃木市教育委員会定例会会議録

令和2年1月栃木市教育委員会定例会を、令和2年1月27日栃木市役所に招集した。

1 本委員会の出席者は、次のとおり

青木千津子教育長 後藤 正人職務代理者 福島 鉄典委員 西脇 はるみ委員
舘野 知美委員 林 慶仁委員

2 本委員会の欠席委員は、次のとおり

大橋 孝子委員

3 本委員会に出席を求められた職員は、次のとおり

生涯学習部長	鵜飼 信行
教育総務課長	江面 健太郎
参事兼学校教育課長	大阿 久敦
学校教育課主幹	堀江 真哉
学校施設課長	稲田 菊二
保健給食課副主幹学校保健係長	大塚 千恵
生涯学習課長	佐藤 義美
公民館課主幹栃木公民館係長栃木公民館館長	臼井 秀明
スポーツ振興課長	飯島 正則
文化課長	金井 武彦

4 本委員会の署名委員は、次のとおり

西脇 はるみ委員

5 本委員会の書記は、次のとおり

教育総務課 主事 成瀬 瑞希

6 本委員会の会議案件は、下記のとおり

日程第1 前回会議録の承認

日程第2 教育長報告

日程第3 議事

協議第1号 栃木市立大宮南小学校教育振興基金条例を廃止する条例の制定について

協議第2号 財産の処分について

日程第4 その他

《会 議》

教 育 長 — 午後2時00分定例会の開会を宣し、出席委員、出席を求められた職員、署名委員、書記及び会議案件を報告する。 —

教 育 長 日程第1 前回会議録の承認について、でございます。12月定例教育委員会の会議録につきましては、あらかじめ委員の皆様へ配付したとおりでございます。ご質問ご意見等はございますでしょうか。

— 異議なしの声 —

教 育 長 それでは、会議録への署名をお願いいたします。

— 令和元年12月定例教育委員会会議録に後藤委員が署名 —

教 育 長 次に、日程第2 教育長報告でございます。

— 資料に基づき報告 —

1 年頭のごあいさつ

2 しめくくりの学期のスタートに当たってお願いしたいこと

①《確かな学力の育成》に関して

②《いじめ・体罰（暴言）のない学校》に関して

③《小中一貫教育・地域と共にある学校づくり》に関して

3 おわりに

「言葉を届ける」ということについて

ご質問等ございましたら、お願いいたします。

福 島 委 員 栃木市内の学校も台風19号によって多大なる被害を受けました。被災から約3か月経過した現在の復興状況をお聞きしたいです。

学校施設課長 1月15日及び16日に国の災害査定を受けまして、査定は完了しております。今後、補助金申請の手続きを進めまして、3月2日に補助金交付決定が予定されております。それに伴いまして、工事の発注手続きを今月から来月上旬にかけて順次進める予定です。

学校の授業期間中の工事にもなりえますので、配慮したうえで工事が可能な学校から着工していくこととなります。本格的に工事ができるのは夏休み期間ですので、そこまで継続していくことを想定しております。

福 島 委 員 大平西小学校と栃木第五小学校の被害が甚大だった記憶があるのですが、他に被災した学校は今どのような状態なのでしょうか。

学校施設課長 その2校に加えて、栃木西中学校が床上浸水で甚大な被害を受けております。その他の学校につきましては、土砂が堆積したり、洗掘したグラウンドの復旧が必要な学校も9校ございます。すぐ工事ができるという状況には至っておりません。

教 育 長 夏休み期間に行うのは校舎内の工事でしょうか。

学校施設課長 夏休み中に校舎内工事を行う予定です。栃木西中学校につきましては、体育館前の大部分のグラウンドが洗掘しておりますので、校庭を半分に区切るなどして、部活動に制約をかけないと工事ができません。学校の了解を得て、工事を進めていきたいと考えております。

後 藤 委 員 工事着工が早く夏休み頃になるということは、場合によっては台風の時期に重なってしまいます。また、原状復帰は秋ごろにずれこむのではないかという話も聞いたことがあります。

去年の異常気象という言葉だけでは片づけられない。また災害が起きてしまうのではないか。手続きに時間が掛かるといっても、学校関係者や地域住民の方々は今も大きな不安を感じているでしょう。

教 育 長
西 脇 委 員
学校教育課長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

ノーチャイムの導入をしている学校はどの程度あるのでしょうか。

中学校ですと最低でも5、6校は導入していると聞いております。小学校でノーチャイムを導入するのは難しいのですが、一時間目にチャイムを鳴らし、二、三時間目は鳴らさないという学校もございます。

後 藤 委 員

ノーチャイムを導入しますと、授業時間が終わっても授業を終わらせない先生が出てきてしまいます。指導の見通しが十分でなかったために焦ってしまう先生もいますので、その点ではノーチャイムは逆効果でしょう。先生自身が時間を守り、範を示すということが重要だと思います。

また、教育長より家庭学習の習慣化という話がありましたが、指導要領改訂の大きなポイントとして、授業で得た能力や知識を家庭生活及び地域生活の中に積極的に生かしていくことで、能力や知識が確実に身につくということが挙げられます。

そのことを踏まえると、家庭学習を単なる予習・復習として捉えるのではなく、学校で勉強したことを生かす場にしなければいけません。例えば、生活科で勉強したことを踏まえて、児童生徒が家に帰って家事を手伝おうとした際に「そんなことしなくていいからドリルで勉強していなさい」と保護者から言われてしまうと、学校で得たものがなかなか生活の中に生かされません。本来学習というものはやればやるほど親の痛みが分からなければならないものです。勉強すれば勉強するほど天狗になってしまっただけでは意味がありません。ぜひ家庭学習を狭い範囲で捉えてほしくないと感じております。

教 育 長
館 野 委 員

学んだことを家庭で生かすのは大事なことです。保護者もそのことを理解したうえで、子どもたちに問いかけ、生かす場を作ることが必要になってきます。

学校のかけ算ボランティアに参加した際に、保護者の印鑑が押してある子と押していない子の差が激しかったことを覚えております。保護者に勉強をちゃんと見てもらえている子と、全く見てもらえない子の差が大きいことが衝撃的でした。

教 育 長
館 野 委 員

他にいかがでしょうか。

資料には記載はありませんが、最近 Windows7 のサービスが終了しました。学校内のパソコンは Windows10 へアップデート等の対応はしているのでしょうか。

学校施設課長

パソコンを入れ替える計画もあったのですが、膨大な費用がかかりますので、Windows7 のサポートを追加で受けるような形で手続きを進めております。

教 育 長

他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教 育 長

ありがとうございました。

次に、日程第3 議事に入らせていただきます。協議第1号 栃木市立大宮南小学校教育振興基金条例を廃止する条例の制定について、を議題といたします。学校施設課 稲田課長より説明をお願いします。

学校施設課長

— 議案に基づき説明 —

教 育 長 協議第1号につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。
 福 島 委 員 昭和45年に100万円の寄付があったとのことですが、最終的にどういった図
 書及び遊具にいくら使われたのでしょうか。
 学校施設課長 地元の篤志家の方より、大宮南小学校に通う後輩たちのプールの建設費のために
 100万円の寄付がありました。当時は市費でプールを建設したため、そのまま
 100万円が残りました。そのため、基金として使用することになった経緯があ
 ります。
 基金につきましては、まず図書の購入に30万円充てております。残りの70万
 円に関しては、学校運営協議会において、校長先生から遊具の設置という提案が
 ございまして、同意が得られましたので、6人掛けのブランコを70万円で設置
 させていただきました。

教 育 長 他にいかがでしょうか。
 — 質問なし —

教 育 長 それでは、協議第1号について、原案にご異議ございませんか。
 — 異議なしの声 —

教 育 長 協議第1号について、異議なきものと認めます。
 次に、協議第2号 財産の処分について、を議題といたします。文化課 金井課
 長より説明をお願いします。
 — 議案に基づき説明 —

文 化 課 長 協議第2号につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。
 教 育 長 財産を売却して、復旧資金にすると説明にあったのですが、売却して得た資金は
 林 委 員 被災した学校の復興費などの教育関係に使用されず、市の予算に入るとい
 ことになるのでしょうか。

文 化 課 長 おっしゃる通りになります。
 教 育 長 他にいかがでしょうか。
 — 質問なし —

教 育 長 それでは、協議第2号について、原案にご異議ございませんか。
 — 異議なしの声 —

教 育 長 協議第2号について、異議なきものと認めます。
 次に、日程第4 その他 に入ります。教育委員による学校訪問について、館野
 委員より報告をお願いします。
 — 教育委員学校訪問報告書に基づき報告 —

西 脇 委 員 ありがとうございます。
 教 育 長 こちらに参加された後藤委員、林委員から他に何かございますでしょうか。
 林 委 員 赤津小学校は環境教育に力を入れている印象があります。自分たちの住む地域の
 環境が良いと自覚している子どもたちが多く、夏休みの理科の研究を自主的に行
 い、約20点の作品が提出されていると聞きました。それだけ地域の環境と理科
 を愛している子が多いのだと思います。

後 藤 委 員 学校訪問において、赤津小学校は地域に支えられていますが、地域の行事に対し
 教員の参加が少ないのが現状です。その点に関して、校長先生に質問させていた
 だきました。栃木市の教育の特徴といいますと、コミュニティスクールや小中一

貫教育、未来アシストネットが挙げられます。これらに赤津小学校は積極的に取り組んでいると感じました。

一方で、連携・協働に関しては、進め方を誤りますと、「面倒くさい」「時間がやたらかかる」「本当に学力がつくのだろうか」「私たちの指導力は本当に向上するのだろうか」という疑問にぶつかります。先ほど、教育長がおっしゃっていたように、連携・協働というのは最終的には子どもの生きる力が身に付くと同時に、先生方の指導力の向上に、必要性を持っていく必要があります。そうでなければ、先生も受け身で終わってしまい、「なんでこんなことをするのか」「校長先生が教育に燃えているからやるのかな」という感想だけ抱いたまま、成果が実っていきません。

学校づくりというのは、校長と教頭が二人だけで行うものではありません。地域の方々、教職員の方々、全員が学校づくりを進めていくのです。具体的な必要性を明確に伝えていかないと、学校づくりは難しくなってしまいます。

連携活動といった時に、内容の連携にも時間を生み出していないと、ただ地域の方が来たから、児童がその場に行ったからといった理由だけで連携とはいいいません。どのようなことを教える時に、どのようにかかわっていくのかといったように、具体的なことを伝えていかないと、地域の方々には不安になってしまいます。校長先生は「本校は学校と地域を区別しておらず、地域の方々が子どもを育ててくださるので、教職員が地域行事に出なくとも不満の声は上がらない」とおっしゃっていましたが、いろんな側面から考えていく必要があると思います。常に、PDCA サイクルを繰り返し、振り返ってみる必要があると思います。

教 育 長

連携をすることだけを優先してしまうと、成果が得られないこともあります。心して進めていきたいと思います。ありがとうございました。

他にご質問等いかがでしょうか。

— 質問なし —

教 育 長

よろしいでしょうか。

次に、令和元年度 小・中学校卒業式への参列について、学校教育課 大阿久課長より説明をお願いします。

学校教育課長

— 資料に基づき説明 —

教 育 長

ありがとうございました。

次に、各課報告をお願いします。

各 課 長

— 各課報告書等に基づき報告 —

教 育 長

ありがとうございました。ただ今、各課より報告がございましたが、改めて確認されたいことや、ご質問等ございましたらお願いいたします。

— 質問なしの声 —

教 育 長

ありがとうございます。

以上で、本日の案件は全て終了いたしました。

それでは、これをもちまして本日の定例教育委員会を終了いたします。

—— 午後2時58分委員会の閉会を宣した。——

令和2年1月27日

教育長

署名委員